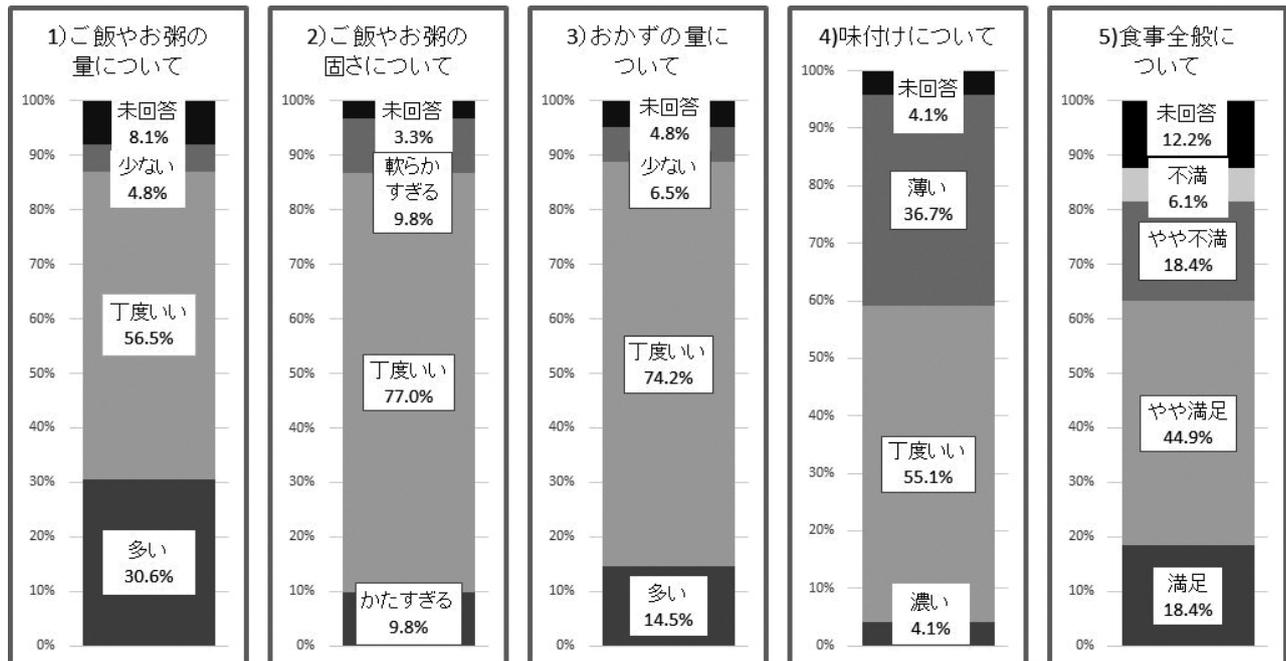


## 嗜好調査の結果について

栄養管理部

ばんどう 坂東  
きょうすけ 恭輔

栄養管理部では、入院患者及び食事介助者に対して給食に関する嗜好調査を年に2回行っています。今回は、6月に実施した嗜好調査の結果をご報告いたします。アンケート用紙を入院患者及び食事介助者合わせて82名に配布し、回収率は75.6%でした。集計結果は以下の通りです。



食事の量や味付けでは、約5割～7割の方に“丁度いい”との回答を得る事ができ、食事全般においては、6割強の方が”満足・やや満足”、2割強の方が”不満・やや不満”との回答を得る事ができました。

給食で提供した料理の中で“おいしかったもの”と“おいしくなかったもの”をお聞きしました。中でも回答が多かった3つをご紹介します。“おいしかったもの”は『天ぷら・魚料理・カレー』、“おいしくなかったもの”は『魚料理・野菜類・肉と野菜炒め』でした。良否共に『魚料理』が入ることは過去の結果を見ても多いのですが、魚どころで味に厳しい方が多いからではないかと想像しています。

その他、『日ごろ、食事の大切さは思っていて、野菜を多く使って頑張っている』『食事は薄味で量が少ないと思っていたが、普通の食事の味付けと変わらなくおいしくいただけました』『野菜中心だったが、味が決まっていて何か一工夫してほしい』等多数のご意見をいただきました。

今回の結果を元に、味の濃さや献立の見直しを行い、満足いただける食事に繋げて行きたいと考えております。

最後にアンケートにご協力いただいた方々にお礼申し上げます。これからも皆様のご回復の一助となりますよう、より一層安全でおいしい食事の提供に努めてまいります。